

令和7年 産業人材育成フォーラム

調査・企画業務における 超短時間雇用の実例と 有効性について

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社

2025年9月1日



The better the question. The better the answer. The better the world works.



Shape the future
with confidence

登壇者の紹介



國分 俊史 *Toshifumi Kokubun*

チーフ・エコノミック・セキュリティ・オフィサー（CESO）。ストラテジックインパクトユニットリーダー。多摩大学大学院教授。
社会課題および経済安全保障政策を起点としたルール形成戦略の第一人者として、通商政策等、各国の経済安全保障政策に翻弄
されない企業戦略の立案を支援。経済安全保障政策に関する政府の委員や政務調査会などのアドバイザーを多数歴任。



森 華子 *Hanako Mori*

ストラテジックインパクトユニットシニアマネージャー。多摩大学大学院客員教授。国家資格キャリアコンサルタント。
10年以上にわたり、イノベーションやDE&I、キャリア開発等のテーマを切り口としたリーダーシップや組織文化・人材マネジメント全般に係る経
営コンサルティングの経験を有する。コーチングを通じて、数多くの個人やチームの意識と行動変容を支援。



須田 有美 *Yumi Suda*

ストラテジックインパクトユニットアソシエイト。
2024年8月に超短時間雇用でEYSCに入社し、コンサルティング業務に係る調査や企画業務に従事。
障がい当事者の視点を生かし、コンサルティングサービス開発や執筆活動にも携わる。

会社概要

会社名	EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社（略称EYSC）		
事業内容	EY Japanの経営コンサルティングサービスと、M&Aなどのトランザクションを支援するストラテジーアンドトランザクションサービスを提供。 EY Japanは、全世界に約30万人の要員を擁するEYのメンバーファームであり、会計、税務、アドバイザリー、コンサルティングサービス等のプロフェッショナル・サービスファーム。		
人員	4,311名 ※2025年8月1日時点		
代表者	近藤 聡	EY-Parthenon リーダー	川口 宏
		コンサルティングリーダー	吉川 聡
		EY-Parthenon COO	伊賀山 真吾
所在地	本社 〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー		





EYSCが「超短時間雇用」に取り組む背景

EYストラテジー・アンド・コンサルティング

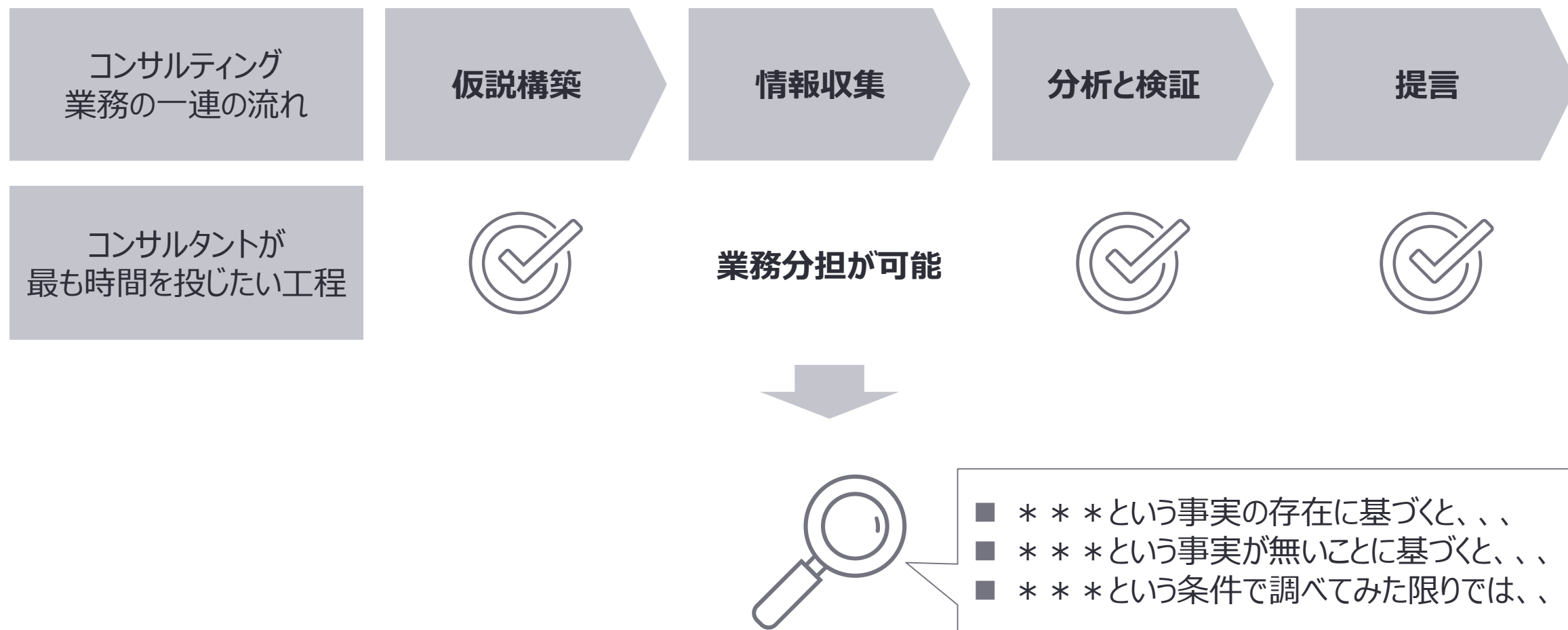
パートナー 國分 俊史

EYが超短時間雇用に取り組む理由は、会社の創業者の生い立ち、パーパス、そして現在のCEOの強力なリーダーシップにある

- 会計士であり弁護士であったEYの共同創業者アーサー・ヤングは、聴覚と視覚に障害があり、自ら起業して会計士という職業を専門職にまで高めた
- EYは、「Building a better working world ～より良い社会の構築を目指して」をパーパス（存在意義）としており、多様な業界に属するステークホルダーが協働しながら、平和で暮らしやすくサステナブルな社会の実現を目指している
- EY JapanのCEOである貴田 守亮は、自身が性的マイノリティであることを公表しており、LGBTに関する理解促進や権利擁護の活動を社内外で積極的に取り組んでいる



コンサルティング業務に必ず存在するデスクトップでの「情報収集」工程は、調査フォームを設計することで100%フルリモートでも適切な業務分担ができる



超短時間ながらも障がい者の方々がコンサルティングの現場の一員になったことで、チーム内の意識や働き方に大きな変化が生まれている



- コンサルティング業界は時間の効率追求を最優先にしがちで、チーム内でのコミュニケーションも作業のすり合わせ以外は最小限の会話になりがち
- 所属しているチームメンバーの性格や大切にしている価値観、プライベートで置かれている環境などに関心を払わないことが多いが、障がい者の方が参画したチームではそれぞれの個性を知るコミュニケーションが大きく増加した



- 超短時間を前提に取り組み始めた業務が、結果として法定雇用率にカウントできる業務時間にまで到達した事例も発生
- 障がい者との議論を通じて得た新しい視点や気づきから、新たなコンサルティングサービスの開発も始動した



調査・企画における超短時間業務の実態

EYストラテジー・アンド・コンサルティング

シニアマネージャー 森 華子

障がいのある方と協業する可能性のあるコンサルタントの当事者意識を醸成すること、および業務特性を考慮した上でのジョブの切り出しに注力

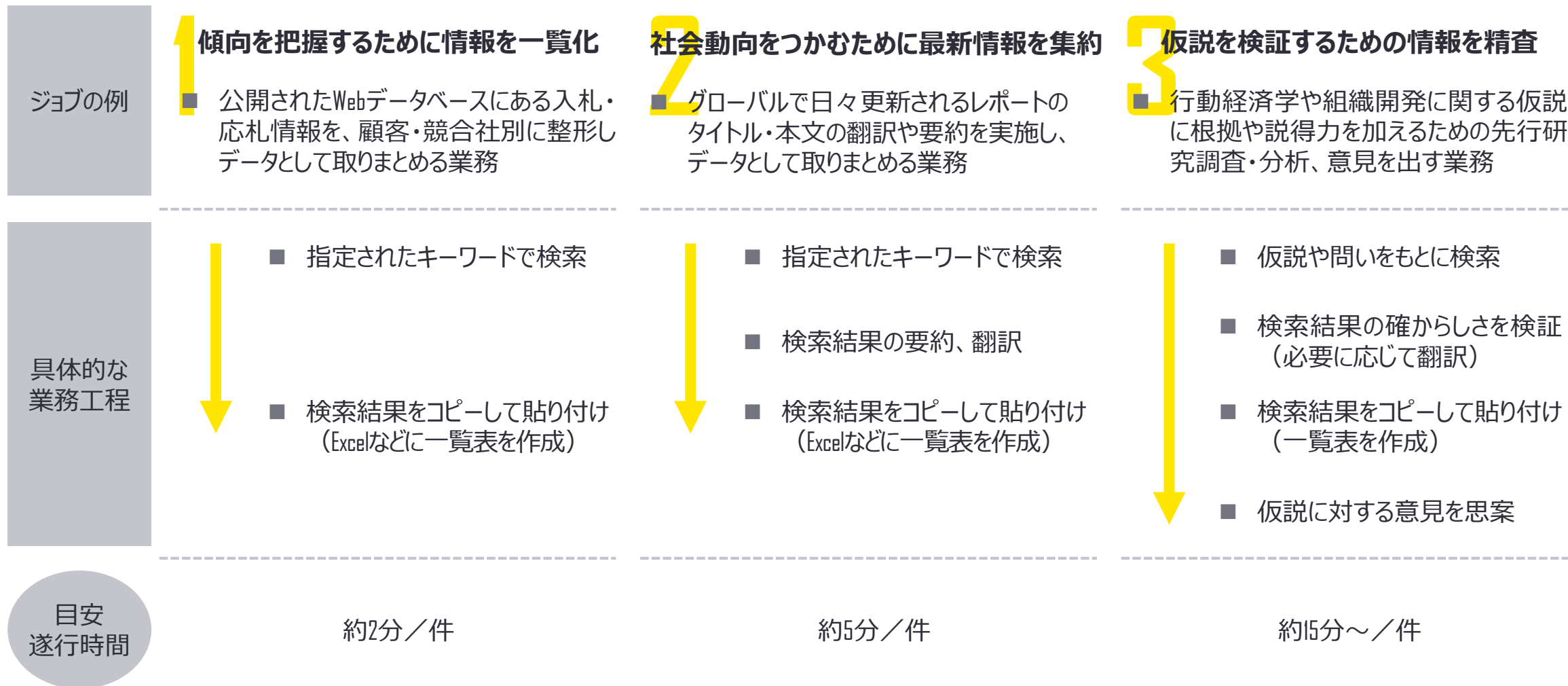
現場コンサルタントの 巻き込み

- 超短時間雇用の意義や障がい者雇用の実態を周知する
- 採用活動の全て（面接や体験実習）への関与を促す
- 取り組みの進捗や実践例を共有する

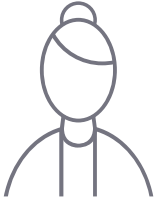
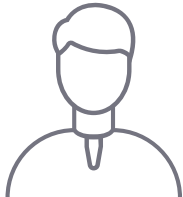
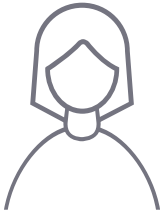
超短時間で取り組める 業務（ジョブ）の切り出し

- たとえ15分の業務遂行であっても「助かる」ジョブを収集した結果、調査・企画業務が最も多かった
- ジョブの選定基準：
 1. **生産性や付加価値の向上**につながる業務か
 2. **短納期ではない、定常的に発生**する業務か
 3. **完全リモート**で実施できる業務か

ビジネスにおける意思決定を後押しする洞察を導くための情報・アイデア収集は たとえ15分だけの業務遂行であっても、現場の生産性や付加価値の向上につながる



個別事情を考慮しながら、業務の目標達成にかなう最適な働き方を実践している

				
障害の特徴	発達障害	精神障害	身体障害	身体障害（難病）
勤務時間や働き方	■ 約5時間／週	■ 約1時間／週 ※週ごとにばらつき有	■ 約4時間／週 ■ 病棟からの勤務を希望	■ 約13時間／週 ■ ヘルパー利用による業務一時中断を希望
ジョブ内容	■ 競合分析を目的とした入札・応札情報の一覧化	■ 観光や経済安全保障に関するグローバルレポートの調査、集約	■ 新たな防衛技術を考えるために必要な障がい者目線での調査、仮説検証	■ 行動経済学や組織開発における先行研究調査・分析、コンサルタントとのディスカッションの実施

※本人が特定されないよう一部内容をデフォルメしていることに留意



超短時間雇用で働く重度障がい者の実例

EYストラテジー・アンド・コンサルティング

アソシエイト 須田 有美

自己紹介



須田 有美 *Yumi Suda*

EYストラテジー・アンド・コンサルティング アソシエイト
神奈川県横須賀市在住。

略歴： 1999年 就職

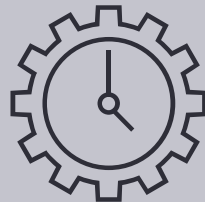
2000年 遠位型ミオパチー（進行性筋疾患）と診断

2018年 病気の進行により退職

2024年 超短時間雇用でEYSCに入社。
コンサルティング業務に係る調査や企画業務に従事

長時間勤務と出社が前提となる一般的な働き方が、私の“働く”を阻んだ

時間の壁



- 日常生活に支援が必要
- 訪問介護サービス中には就労できない
- 訪問リハビリ等を通じた体調管理も必須

外出の壁



- 単独での外出が困難
- 通勤のための公的介護サービス利用は禁じられている
- 週・月に数回の出社条件がある求人ばかり

超短時間雇用で調査・企画業務を行うことで、支援との両立が可能に

今の働き方

- 週3～4日×4時間／日の勤務
- ヘルパー利用時は勤務を一時中断
- 完全リモートワーク

具体的な業務内容

- 行動経済学やアートを活用した組織開発の取り組みに関する先行事例の調査・分析、ディスカッションへの参画
- 障がい当事者としての社会に存在するバリアの調査
- 弊社所属パラアスリートへのインタビュー調査

働くことで、自分が存在する意味が変わった

働けなかった過去

- 社会からの疎外感
- 誰にも必要とされていない無力感
- 社会人として情けない
- もう働くことは諦めたほうがいいのか...



働いている今

- 社会とのつながりを再実感
- 役に立てる喜び
- 自己肯定感が高まった
- 同僚からの良い刺激
- 生きる活力が増した

当事者として最後に伝えたいメッセージ

重度障がい者でも環境が整えば働ける

働きたいという思いを無駄にしないでほしい

誰もが当たり前に通ける社会になってほしい



ご清聴ありがとうございました

EYは、クライアント、EYのメンバー、社会、そして地球のために新たな価値を創出するとともに、資本市場における信頼を確立していくことで、より良い社会の構築を目指しています。

データ、AI、および先進テクノロジーの活用により、EYのチームはクライアントが確信を持って未来を形づくるための支援を行い、現在、そして未来における喫緊の課題への解決策を導き出します。

EYのチームの活動領域は、アシュアランス、コンサルティング、税務、ストラテジー、トランザクションの全領域にわたります。蓄積した業界の知見やグローバルに連携したさまざまな分野にわたるネットワーク、多様なエコシステムパートナーに支えられ、150以上の国と地域でサービスを提供しています。

All in to shape the future with confidence.

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、ey.com/privacyをご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくは、ey.comをご覧ください。

EYのコンサルティングサービスについて

EYのコンサルティングサービスは、人、テクノロジー、イノベーションの力でビジネスを変革し、より良い社会を構築していきます。私たちは、変革、すなわちトランスフォーメーションの領域で世界トップクラスのコンサルタントになることを目指しています。7万人を超えるEYのコンサルタントは、その多様性とスキルを生かして、人を中心に据え（humans@center）、迅速にテクノロジーを実用化し（technology@speed）、大規模にイノベーションを推進し（innovation@scale）、クライアントのトランスフォーメーションを支援します。これらの変革を推進することにより、人、クライアント、社会にとっての長期的価値を創造していきます。詳しくは、ey.com/ja_jp/services/consultingをご覧ください。

© 2025 EY Strategy and Consulting Co., Ltd.

All Rights Reserved.

ED None

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません。EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

ey.com/ja_jp